

「～来業、企業、起業のかたち～木曾町未来型きぎょう拠点整備事業」

長野県木曾町（長野県木曾町）

コンソーシアム名	木曾町ITビジネス推進コンソーシアム			
コンソーシアム参加機関名 (下線は代表機関)	長野県木曾町、木曾町商工会、特定非営利活動法人ふるさと交流木曾株式会社タスクールPlus、MASTコンサルティング株式会社 一般社団法人日本地域資源学会、BOCCA、zeroichiworks			
地方移動者数	従業員:6人	個人:1人	地元ワーカー数	従業員:0人 個人:1人
事業概要	<p>“木曾町未来型きぎょう”とは、木曾町が考える3つのきぎょう、すなわち来業(都市部からの企業誘致)、企業(地元企業の発展)、起業(地元の若者や移住者の創業)の有機的な連携を図る計画のことである。</p> <p>木曾町は檜を代表とする良質な木材を使った産業の歴史が古く、建築木工デザインとはゆかりが深い土地である。この特性を生かすため、“デザイン”を全体のコンセプトとした4か所のテレワーク施設・コワーキング施設の整備を行っている。将来的には日本中の工務店から長期派遣を受入れる拠点を整備していくつもりである。本年度の事業は、4か所の施設のうち市街地に設置する拠点Space Matsuya(仮称)を大企業のテレワーク拠点として耐えうるレベルまで整備し、テレワーク拠点としての魅力を向上させることを狙いとしている。</p>			

